

【男性300人に家事・料事情を徹底調査！】

男性が最も負担に感じている家事は「料理」、 一方で約半数が「料理が好き」「もっと料理をしたい」ことも判明！

既婚男性のうち約半数がもっと家事を担いたい！約4人に1人は「料理」を担いたいと回答
料理をしたいけど「時間がない」「料理のレパートリーがわからない」、「魚料理」「揚げ物」が苦手
男性が抱える料理のお悩みも万城食品の簡単調味料で解決！

わさび製品を中心に香辛料・調味料を開発・製造する、株式会社万城食品（ばんじょうしょくひん 本社：静岡県三島市、代表取締役社長：米山一郎）は、男性300人を対象に「男性の家事・料理意識についてのアンケート」を実施しました。9月25日は「主婦休みの日」として制定されておりますが、近年は家事に対して特定の日に休む、特定の日だけ家事を交代するのではなく、日常的に家事を分担することがパートナーシップのスタンダードになってきています。また家事は女性が担う、などの性別役割分担の意識にとらわれず、性別に関わらず家事や料理を担っていくという意識が広がっています。そこで万城食品は、女性に焦点が当てられがちであった家事事情について、男性側の家事・料事情を調査しました。

調査概要 「男性の家事・料理意識についてのアンケート」
調査対象：男性300名
調査方法：インターネットを用いたアンケート調査
調査期間：2021年9月16日（木）～ 2019年9月17日（金）

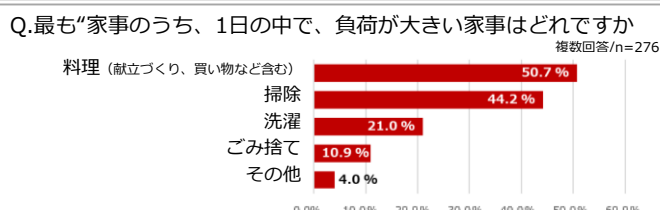
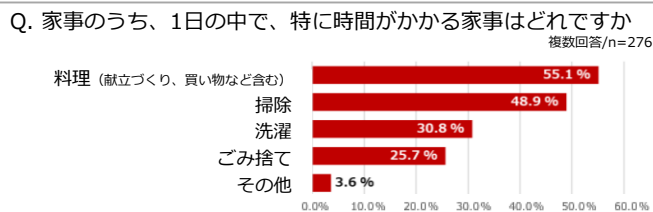
調査サマリー

- 男性の家事事情、9割以上が「家事をしている」最も負担に感じている＆時間がかかる家事は「料理」
- 男性の料事情を徹底調査！「料理」に費やす時間は「平日48分」「休日58分」
約半数が「料理が好き」「もっと積極的に料理をしたい」という結果に
- もっと料理をしたいけど…できない理由は「時間がない」「料理のレパートリーがわからない」
苦手な料理は「魚をメインにした料理」、苦手な調理方法は「揚げ物」
- 既婚男性の3人に2人以上は家事負担30%以下、一方で4人に1人はもっと「料理」を担いたいと回答
パートナーに作るなら「美味しく作ることができる料理」「パートナーが好きな料理」

調査結果

男性の家事事情、9割以上が「家事をしている」 最も負担に感じている＆時間がかかる家事は「料理」

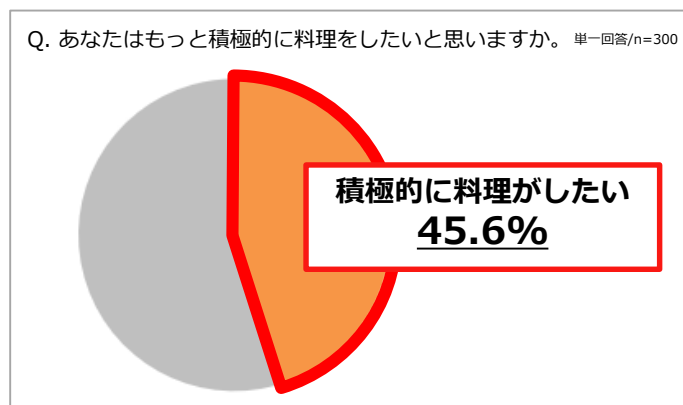
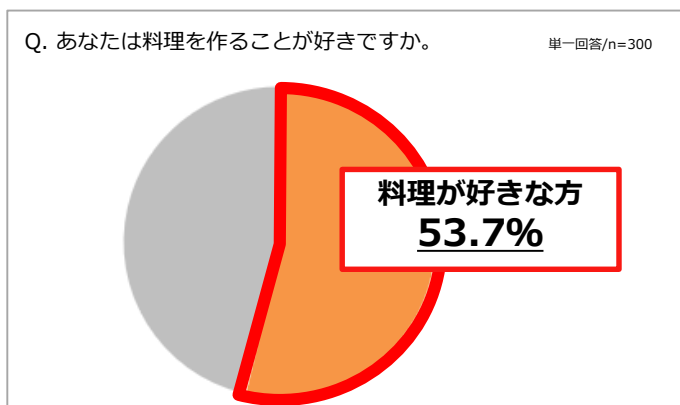
男性300人に家事事情を調査したところ、9割以上が家事をしているという事がわかりました。また家事を行う男性のうち1日の中で負荷が大きい家事は「料理（50.7%）」、また最も時間をかけている家事も「料理（55.1%）」という結果になり、半数以上の男性が料理を最も負担と感じ、時間をかけていることがわかりました。また料理に次いで、「掃除」「洗濯」「ごみ捨て」という順で負担に感じ、家事に費やす時間が長いほど負担に感じている人が多いという結果になりました。



男性の料理事情を徹底調査！ 「料理」に費やす時間は「平日48分」「休日58分」 約半数が「料理を好き」「もっと積極的に料理をしたい」という結果に

男性が最も負担に感じる家事である「料理」について、男性の料理事情を徹底調査しました。まず、1日のうち献立づくりや買い物などを含む料理に費やす時間は、平均にすると平日「48.2分」休日「58.3分」という結果になりました。平均で1日約1時間ほどを料理に費やしている事がわかります。

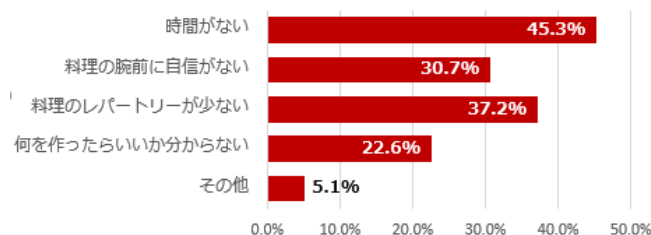
また料理への好感度を聞いたところ「好き」「どちらかと言うと好き」と回答した男性が53.7%と、約半数が料理に対して好印象を持っていることがわかりました。またもっと積極的に料理をしたいという男性が45.6%と、約半数の方がもっと料理をしたいと思っていることも判明しました。



もっと料理をしたいけど… できない理由は「時間がない」「料理のレパートリーがわからない」 苦手な料理は「魚をメインにした料理」苦手な調理方法は「揚げ物」

「料理が好き」「料理をもっと積極的にしたい」と思っている男性が半数ほどいるなか、料理ができない理由として「時間がない」「レパートリーがわからない」という理由が上位に上がりました。またよく作る料理は「肉」もしくは「野菜」をメインにした料理で、苦手と感じているのは約半数の男性が「魚」をメインにした料理であることがわかりました。さらに普段の調理方法は「炒めもの」「焼きもの」「煮物」「揚げ物」の順に多く、苦手な調理方法は約3人に1人が「揚げ物」と回答し最も多い結果となりました。苦手と感じている料理や調理方法に偏りがあり、苦手と感じているものは実践しない傾向にあるようです。

Q. 料理をしたいと思っているのに、出来ていない理由を全て教えてください。
複数回答/n=137 (もっと積極的に料理をしたいと思っている方)



調理素材について (複数回答/n=239)

	普段よく作って食べる料理	苦手な料理
肉をメインにした料理	65.3%	13.0%
野菜をメインにした料理	59.4%	9.6%
魚をメインにした料理	28.9%	46.0%
その他/特になし	1.7%	42.2%

調理方法について (複数回答/n=239)

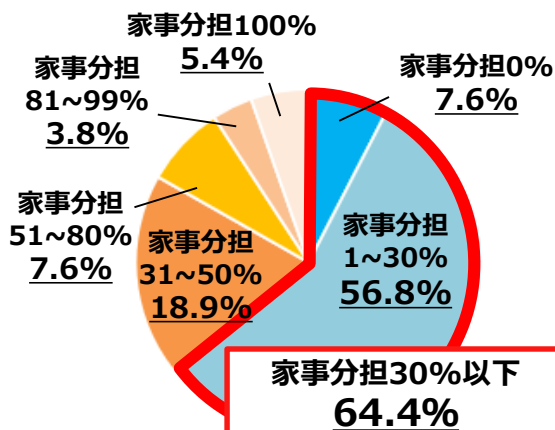
	普段よく作って食べる料理	苦手な料理
揚げ物	23.0%	36.0%
煮物	37.7%	28.9%
焼き物	54.8%	10.9%
炒めもの	69.0%	3.8%
その他	0.4%	40.1%

既婚男性の3人に2人以上は家事負担30%以下、 一方で4人に1人はもっと「料理」を担いたいと回答

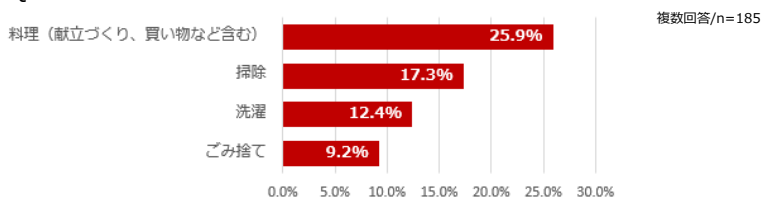
パートナーに作るなら「美味しく作ることができる料理」「パートナーが好きな料理」

さらに今回、特に既婚男性の家事・調理事情も調査しました。既婚男性のうち、家事を3割以上担っていると回答した人は、全体の35.6%にとどまり、ほとんどの家事をパートナーに頼っていることがわかりました。まだまだ女性の家事負担が多いことがわかる一方、もっと家事を担いたいと思っている男性も多く、そのなかでも25.9%と約4人に1人が特に「料理」を担いたいという事が判明しました。そしてパートナーに料理を作るなら「美味しく作ることができる料理」、次いで「パートナーが好きな料理」「栄養バランスのよい料理」と、パートナーに喜んでもらいたいと思う料理を作りたいという男性が多いことがわかりました。

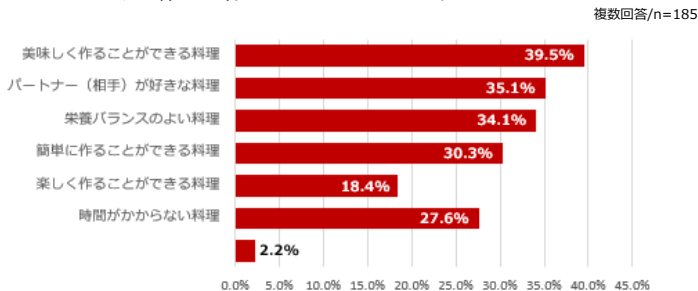
Q.ご自身は家事の何割を担当されていますか 単一回答/n=185



Q.パートナーに対してもっと自分が担いたいと思う家事を教えてください



Q.パートナーや大切な誰かに作ってあげたいと思う料理はどれですか



「時間がない」「料理のレパートリーがわからない」「魚料理が苦手」な男性に！ お店クオリティの魚料理を自宅で時短＆手軽に作る！ 万城食品の簡単調味料「さかなごはん」シリーズ

調査では、もっと料理をしたいけど「時間がない」「料理のレパートリーがわからない」という理由で料理をできていない方が多く、「魚をメインにした料理」が苦手なことが多いことがわかりました。そこで、お店クオリティの魚料理を自宅で時短＆手軽に作る万城食品の「さかなごはんシリーズ」をご紹介します。

下処理などに時間のかかる魚料理を“時短”で“美味しく”作るため、分量を計った調味料＆オリジナルの下処理粉を同梱。「鮭のちゃんちゃん焼き」や「とろ〜りエビマヨソース」などの本格的な魚料理が10分程度で調理可能です。作り方をすぐに見れるよう、カラー写真で工程が紹介されているレシピブック型のパッケージを採用しています。



■ **株式会社万城食品 会社概要**

万城食品は1952年に創業した、わさび製品が主力の香辛料・調味料のメーカーです。わさび産出額、日本一の静岡県三島市に本社を構え、産地から全国の食卓へわさびを届けています。“もっとおいしく、もっとたのしく”を企業理念に掲げ、現在ではわさび製品に加え、蒲焼のたれ、からし酢みそ、ドレッシング、調理用調味料など多様な商品を製造・販売しています。

ホームページ： <https://www.banjo.co.jp/>

万城食品楽天市場店： <https://www.rakuten.co.jp/banjo-shop>

もっとおいしく、
もっとたのしく



BANJO